

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	市民会館施設管理費	担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課		
予算科目コード	会計 01 款 02 項 01 目 14 細目 001 説明 01		課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 43 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市民会館の清掃、警備、舞台、受付窓口業務などの総合管理委託を行うとともに、施設・設備修繕を実施することで利用者の利便性を確保し、市民へ音楽・演劇等の発表と鑑賞の場を提供する。				
対象	1. 個人		市民		429,317 人
根拠法令等	法律等 藤沢市民会館条例・施行規則、建築物における衛生的環境の確保に関する法律 ほか				
事業実施内容	市民会館の施設利用者の利便性の維持や文化芸術の発表・鑑賞の場の提供等を目的とし、以下のことを実施した。 ・舞台業務・受付・警備・清掃など運営管理の委託 ・施設・設備・機器等の整備と修繕 ・施設管理予約システムの運用				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市民会館サービス・センター株式会社, 社会福祉法人ひばり ハートピア湘南 ほか)				
	(委託等内容: 市民会館舞台・設備・受付等の業務, 市民会館の外まわり除草・清掃 ほか)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 奥田公園駐車場負担金, 全国公立文化施設協会会費 等)				
<input type="checkbox"/> その他 ()					

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
出	334,683 千円	需用費	57,252 千円	物品修繕, 施設修繕ほか
		使用料及び賃借料	20,073 千円	施設管理予約システム・大ホール舞台照明調光操作卓リースほか
		委託料	208,830 千円	市民会館舞台・設備・受付業務委託, 除草清掃業務委託
		負担金補助金及び交付金	47,311 千円	奥田公園駐車場負担金ほか
		その他	1,217 千円	電話料, 旅費ほか
財源内訳	H30年度 支出済額 334,683 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	57,621 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (水道光熱費実費収入, 奥田公園駐車場公共施設利用者駐車場納付)	22,362 千円			
一般財源	254,700 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	2.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度				
コスト	支出	行政費用 A	404,989		376,233		374,568		368,447			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	384,802		363,605		362,422		355,882			
		事業費(支出済額-②報酬合計)	363,798		342,385		341,155		334,683			
		償還金利息	0		0		0		0			
		人件費合計(①+②+③)	21,004		21,220		21,267		21,199			
		職員数(常勤 非常勤)	2.20	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00		
		参考:正規職員平均給与	9,040		9,101		9,219		9,167			
		①職員給与合計(常勤)	19,888		20,022		20,282		20,167			
		②報酬合計(非常勤)	0		0		0		0			
		③退職金相当額	1,116		1,198		985		1,032			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	20,187		12,628		12,146		12,565			
		①減価償却費	12,699		12,699		12,699		12,802			
		②退職給与引当金繰入額	7,488		-71		-553		-237			
		③不納欠損額	0		0		0		0			
		④その他()	0		0		0		0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		962.84	420,619	885.04	425,105	876.18	427,501	858.22	429,317			
成果実績	指標名	施設稼働率(大・小ホール, 第1・第2展示集会ホール)の平均	目標	90	単位	%	90	単位	%	90	単位	%
			実績	85.80	単位	%	86.80	単位	%	86.55	単位	%
			数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		4,720,151.52		4,334,481.57		4,327,764.30		4,233,563.14				

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	開館50年余りが経過し, 老朽化や機能劣化が進んでいる。快適な利用環境維持のために, 修繕を要する箇所が増加傾向にある。
(2) (1)解決のための今後の取組	日頃より点検・保守に取り組み, 優先順位をつけて修繕を行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民会館の施設を良好な利用環境に保つことで, 利用者が安全で安心して文化活動を行うための場と鑑賞する機会を提供することができた。また, 施設予約システムの活用によりホールや会議室等の貸館業務を円滑に行うことができた。
今後の方針	<p>事業の方向性 現状維持</p> <p>市民会館の再整備を予定する中においても, 良好な利用環境や利用者の安全の確保を図る必要があるため, 今後も施設の状態を把握し, 必要に応じて適切な施設管理を行っていく。</p>

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	市民会館管理・運営に関すること	有	有		1
4	市民会館の優先確保に関すること	無	有	1	1
5	市民会館の使用に関すること	有	有	1	1
6	市民会館の使用料に関すること	有	有	1	1
7	施設予約管理システムに関すること	有	無	1	
8	目的外使用に関すること	無	有	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	市民会館整備費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	14	細目	002	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 43 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民会館利用者の安全確保と利便性向上, 会館の機能維持のために改修工事等を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等							
事業実施内容	・ホール客席椅子張替え修繕 ・ブロック塀修繕 ・第1展示集会ホールカーペット張替え ・第2展示集会ホール壁床天井張替え ・第1展示集会ホール棟防水工事						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 18,080 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		需用費	15,136 千円	ホール客席椅子張替え修繕, ブロック塀修繕, 第1展示集会ホールカーペット張替え, 第2展示集会ホール壁床天井張替え											
		工事請負費	2,944 千円	第1展示集会ホール棟防水工事											
財源内訳	H30年度 支出済額 18,080 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.30</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.30	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.30
			平成30年度												
		正規職員等	0.30												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.30												
		費目	支出済額 (千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ()															
一般財源	18,080 千円														

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	38,097	13,844	41,901	21,251			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	38,097	13,844	41,277	20,971			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	38,097	13,844	39,343	18,080			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	1,934	2,891			
	職員数(常勤 非常勤)	0.00 0.00	0.00 0.00	0.20 0.00	0.30 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	0	0	1,844	2,750			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	0	0	90	141			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	624	280			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	0	0	624	280			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	90.57	420,619	32.57	425,105	98.01	427,501	49.50	429,317

成果実績	指標名 施設稼働率(大・小ホール, 第1・第2展示集会ホールの平均)	目標	90	単位 %	90	単位 %	90	単位 %	90	単位 %
		実績	85.80	単位 %	86.80	単位 %	86.55	単位 %	87.03	単位 %
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		444,020.98	159,493.09	484,124.78	244,180.17					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	再整備の方向性を「建替え」と決定したため, どの程度の施設, 機能としていくのか, どのような機能を持たせた複合施設としていくのか検討する必要がある。また, 基本構想の策定に向け, 市民や関係団体等から意見を聴取するとともにその整理を行う必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	市民向けワークショップの実施, 関係団体等からの聞き取り, サウンディング調査の実施など, 基本構想策定に向けた基礎資料の収集を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民会館の修繕等を行うことで, 施設を良好な利用環境に保つことができ, 利用者の安全確保や施設の機能維持につながった。	
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	再整備に着手するまでの間の施設運営や利用者の安全確保に必要な修繕につき, 管理を委託している藤沢市民会館サービス・センター株式会社の意見も聞きながら進めていく。また, 再整備に向けた取組として市民や関係団体等からの聞き取りを行うとともにゼネコン等を対象としたサウンディング調査を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	市民会館の管理・運営に関すること	有	有		1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	湘南台文化センター施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	001	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センター利用者が、より快適な環境で施設を利用し、サービスを受けられるよう指定管理による運営管理を行う。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律					
事業実施内容	湘南台文化センターの施設運営を指定管理者制度により実施した。 ・施設全般の効率的な維持管理及び突発的な修繕 ・子ども達の創造性や豊かな人間性を育む場としてのこども館の運営 ・市民の文化芸術鑑賞の場, 自主的な文化活動の場としての市民シアターの運営 湘南台文化センターにおける各種設備の賃借等を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者: 藤沢市まちづくり協会・藤沢市民会館サービスセンター(株)共同 事業体)						
	(委託等内容: 湘南台文化センターの運営管理)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ()						
<input type="checkbox"/> その他 ()							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 342,606 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		賃金	1,009 千円	指定管理者事務補助パート職員賃金
		委託料	276,043 千円	湘南台文化センター指定管理料
財源内訳	H30年度 支出済額 342,606 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	342,606 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.80
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.80

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	404,700	418,367	419,863	416,156			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	337,694	354,123	355,794	350,315			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	330,056	346,406	348,061	342,606			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,638	7,717	7,733	7,709			
	職員数(常勤 非常勤)	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	7,232	7,281	7,375	7,334			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	406	436	358	375			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	67,006	64,244	64,069	65,841			
	①減価償却費	64,283	64,270	64,270	65,927			
	②退職給与引当金繰入額	2,723	-26	-201	-86			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	962.15	420,619	984.15	425,105	982.13	427,501	969.34	429,317

成果実績	指標名	施設利用者数(こども館・市民シアター)	目標	247,900	単位	259,000	単位	261,500	単位	264,000	単位
			実績	265,804	単位	266,524	単位	281,077	単位	287,513	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,522.55		1,569.72		1,493.77		1,447.43			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	施設内外を快適かつ安全な状態に保つため, 電気・空調・給排水設備などの日常保守や保守点検を指定管理者を通じて適切に行う必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	指定管理者との綿密な連絡調整及び的確な指導を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	指定管理者のノウハウを活用した事業実施や軽易な修繕等についての迅速な対応などにより, 市民サービスの向上に資することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	利用者が快適に安心して利用できるよう指定管理者との綿密な連絡調整及び的確な指導を行うとともに, 指定管理者第三者評価における指摘事項等を踏まえ, より良い施設となるよう取り組んでいく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
19	湘南台文化センターの指定管理者に対する運営指導	有	有		1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	湘南台文化センター整備費	担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課		
予算科目コード	会計 01 款 02 項 01 目 15 細目 002 説明 01		課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	湘南台文化センター利用者の安全確保と利便性向上, 文化センターの機能維持のために改修工事等を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等					
事業実施内容	・せせらぎ広場池関係修繕 ・体育室壁面扉修繕 ・せせらぎ広場池砂ろ材交換 ・直流電源装置更新工事 ・こども館天井改修工事				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳			
	支出済額	費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容	
	42,062 千円	需用費		4,126 千円	せせらぎ広場池関係修繕, 体育室壁面扉修繕
		役務費		1,211 千円	せせらぎ広場池砂ろ材交換
		工事請負費		36,725 千円	直流電源装置更新工事, こども館天井改修工事, 上水用自動給水装置改修工事
事業費節別財源内訳					
財源内訳	H30年度	費 目	支出済額 (千円)		
	支出済額	分担金・負担金			
	42,062 千円	使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
		その他 (湘南台文化センター整備事業債)	11,300 千円		
一般財源		30,762 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度							
コスト	支出	行政費用 A	18,901		19,662		7,350		45,233						
		(1)現金を伴う支出 (千円)	18,220		19,669		7,400		44,953						
		事業費(支出済額-②報酬合計)	16,311		17,740		5,466		42,062						
		償還金利息	0		0		0		0						
		人件費合計(①+②+③)	1,909		1,929		1,934		2,891						
		職員数(常勤 非常勤)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.30	0.00					
		参考:正規職員平均給与	9,040		9,101		9,219		9,167						
		①職員給与合計(常勤)	1,808		1,820		1,844		2,750						
		②報酬合計(非常勤)	0		0		0		0						
		③退職金相当額	101		109		90		141						
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	681		-7		-50		280						
		①減価償却費	0		0		0		0						
		②退職給与引当金繰入額	681		-7		-50		280						
		③不納欠損額	0		0		0		0						
		④その他()	0		0		0		0						
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		44.94	420,619	46.25	425,105	17.19	427,501	105.36	429,317						
成果実績	指標名	施設利用者数(こども館・市民シアター)	目標	247,900	単位	人	259,000	単位	人	261,500	単位	人	264,000	単位	人
			実績	265,804	単位	人	266,524	単位	人	281,077	単位	人	287,513	単位	人
			数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		71.11		73.77		26.15		157.33							

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)
 ※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設及び設備の老朽化が進みつつあるため, 利用者の安全性の確保策について, 施設管理者である指定管理者と協議していく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	施設及び設備の現状把握を行い, 指定管理者と協議しながら計画的な整備計画を立てる。突発的な修繕に関しては, 早期の対応が必要かを見極めたうえで対応する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	非常用電源設備や上水用自動給水装置の改修, こども館の天井修繕等を行うことで, 良好かつ安全な利用環境を確保することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	経年劣化による施設の老朽化も顕在化し始めていることから, 利用者が引き続き快適に安心して利用できるよう, 指定管理者と協力しながら施設修繕等を実施していく。また, 緊急的な施設修繕については, 指定管理者とのリスク分担に応じた対応を原則としつつ, 協議のうえで実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
9	湘南台文化センターに関すること	有			1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	文化行政一般事務費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 58 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化行政推進のため、掲示板の維持管理等を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等							
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・催し物案内ポスター掲示板の維持管理 ・ポスター掲示板賠償責任保険への加入 ・発表会等出場賞賜金の支給 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 145 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	106 千円	賞賜金の交付等
		役務費	39 千円	ポスター掲示板賠償責任保険
財源内訳	H30年度 支出済額 145 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	145 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	4,252	2,999	2,994	3,004			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,231	3,009	3,069	3,036			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	367	116	169	145			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	2,893	2,900	2,891			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	2,730	2,766	2,750			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	163	134	141			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,021	-10	-75	-32			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,021	-10	-75	-32			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	10.11	420,619	7.05	425,105	7.00	427,501	7.00	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		主な事業が一般事務経費であるため指標設定は困難である。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	催し物案内ポスター掲示板の必要性の見直しが必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	市内各所に設置された掲示板の状態を確認し，必要に応じて撤去等を検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	掲示板による文化事業の広報を行うことにより，市の文化事業の周知することができた。また，催し物案内ポスター掲示板のガラスが破損した際には賠償保険に加入しているため，迅速に対応することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	掲示板の設置位置等について検討していくとともに，安全に配慮しながら適切に管理していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	賞賜金に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

成果実績	指標名	市民ギャラリー稼働率	目標	100	単位	100	単位	100	単位	100	単位	
				%		%		%		%		%
			実績	92.2	単位	98.0	単位	99.3	単位	99.3	単位	
			%		%		%		%		%	
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			964,056.40	885,316.33	864,078.55	894,229.61						

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	利用団体が固定化しており, 新規に利用を希望する団体が少ない。また, 入場者数が頭打ちとなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	2019年7月よりルミネ藤沢店からODAKYU湘南GATEへ移転するため, 同フロアにある図書館来館者などに対して積極的に周知していく。また, 移転を記念した公募による児童画展の開催により, 施設の移転と合わせてその存在をPRしていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民ギャラリーの施設環境を良好な状態に保つことで利用者・観覧者ともに満足できる状態を維持することができた。また, 公民館サークル展や高等学校美術展を実施することで, 本市の文化活動の次世代育成等に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	本市の芸術文化の振興を図る上で, 市民が作成した美術作品を展示し, また鑑賞することができる市民ギャラリーは必要な施設であると考えていることから, 今後も継続的に事業を実施していくとともに, 移転により同フロアになる図書館との連携についても検討を進めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
14	市民ギャラリーの管理・運営に関すること	有	有	1	
15	市民ギャラリー使用申請・許可業務に関すること	有	有	1	1
16	主催事業に関すること	有	有	1	
17	地下道展示場に関すること	有	有	1	
18	藤沢市民ギャラリー運営協議会に関すること	有	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	収蔵美術資料管理事業費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	05	課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市が所蔵する美術品、工芸品等を免震・耐火構造・定温・定湿設備を備えた専用の倉庫に保管することで、劣化や毀損を防ぎ、良好な状態に保つ。						
対象	4. その他	市所蔵美術品・工芸品等				1,669 点	
根拠法令等							
事業実施内容	市所蔵の美術品・工芸品等を適切に保管管理した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 三井倉庫株式会社 関東支社) (委託等内容 : 美術品・工芸品等の保管管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	3,316 千円	委託料	3,316 千円	美術品等保管管理委託料
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	3,316 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他 ()			
	一般財源		3,316 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
コスト 支出	行政費用 A		3,669	3,021	4,269		
	(1)現金を伴う支出 (千円)		3,332	3,046	4,280		
	事業費(支出済額-②報酬合計)		2,368	2,079	3,316		
	償還金利子		0	0	0		
	人件費合計(①+②+③)		964	967	964		
	職員数(常勤 非常勤)		0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00		
	参考:正規職員平均給与		9,101	9,219	9,167		
	①職員給与合計(常勤)		910	922	917		
	②報酬合計(非常勤)		0	0	0		
	③退職金相当額		54	45	47		
	(2)現金を伴わない支出 (千円)		337	-25	-11		
	①減価償却費		0	0	0		
	②退職給与引当金繰入額		337	-25	-11		
	③不納欠損額		0	0	0		
④その他()		0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		8.63	425,105	7.07	427,501	9.94	429,317

成果実績	指標名		目標	-		単位	-	単位	-	単位
			実績	-		単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		事業の性質が施設貸借的要素が強いものであるため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	倉庫が東京都江東区にあるため，頻繁に作品状態等を確認することが困難。
(2) (1)解決のための今後の取組	近隣において同等の保管条件を持つ倉庫がないか調査する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市が所蔵する美術品・工芸品等を適切に保管管理することで，価値の減損なく良好な状態を維持することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	美術品・工芸品等を良好な状態で維持し，劣化・毀損による価値の減損が発生しないよう適切な管理を継続する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	アートスペースの管理・運営に関すること	有	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	文化振興基金積立金	担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課		
予算科目コード	会計 01 款 11 項 06 目 04 細目 003 説明 01		課等の長	横田 隆一	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市民文化の振興を安定的かつ継続的に確保することを目的として文化振興基金へ積立を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市文化振興基金条例				
事業実施内容	文化振興基金への寄付金及び積立金利子を、文化振興基金に積立てた。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(:)
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(:)
	<input type="checkbox"/> その他	(:)

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	6,928 千円	積立金	6,928 千円	文化振興基金積立金及び積立金利子
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	6,928 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他 (文化振興基金寄付金、文化振興基金 金利子収入)	6,928 千円		
	一般財源			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト支出	行政費用 A	2,804	12,344	12,827	9,145			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,464	12,347	12,852	8,855			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,509	11,383	11,885	6,928			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	964	967	1,927			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.20 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	1,833			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	45	94			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	290			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	290			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	6.67	420,619	29.04	425,105	30.00	427,501	21.30	429,317

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	市民・団体等からの寄付金に対して指標の設定はできないため。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	文化振興のための財源の一つとして，文化振興基金についてより一層の周知を行う必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	事業実施時などに文化振興基金を周知し，寄付についての呼びかけをしていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	一定額の寄付を集めることで，市民が芸術文化に親しむための基盤の強化につながった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	文化振興を安定的かつ継続的に実施することを目的として，今後も文化振興基金への積立を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	文化振興基金に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------